

1:1 キリスト・イエスのしもべ、神の福音のために選び出され、使徒として召されたパウロから。

しもべ= ◀ 1401. doulos (デュラス) 126 回 ▶ (A) 奴隷の (N) 奴隷

1:2 ——この福音は、神がご自分の預言者たちを通して、聖書にあらかじめ約束されたもので、

@聖書において前から約束=キリストは突然現れた教祖様ではない

1:3 御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、(血統)

肉= ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

1:6 その異邦人たちの中であって、あなたがたも 召されて イエス・キリストのものとなりました——

(改 2)1:6 あなたがたも、それらの人々の中であって、イエス・キリストによって 召された人々です。・・・このパウロから、  
@あなたがたも、召された人々です=この書を読む人のひとりとしてこの事に関わっていない人はいない

ロマ 1:10 祈るときには(4335)いつも、神のみこころによって、今度こそついに道が開かれ、何とかしてあなたがたのところに行けるようにと願っています(1189)。

祈る=祈り= ◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ) 37 回 ▶ (N) 祈り(真剣な祈り)(語源は 4336. proseuchomai(普通に祈る))

願っています=◀ 1189. deomai (デオマイ) 22 回▶(V)祈る、お願いする、懇願する  
(2コリ 8:4)、しきりに願う(ルカ 8:38)

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。  
しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

懇願する

Ⅱコリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な  
熱意をもって私たちに懇願しました。

1:11 私があなたがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでも分け与えて、あなたがたを強くしたいからです。

@御霊の賜物をいくらかでも分け与えて=信仰の人（でありその人の覆い）と交わるなら賜物を受ける

@（1テサ 3:10）私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを補うことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

1:11 私があなたがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでも分け与えて、あなたがたを強くしたいからです。

1:12 というより、あなたがたの間であって、あなたがたと私の互いの信仰によって、ともに励ましを受けたいのです。

1:14 私は、ギリシア人にも未開の人にも、知識のある人にも知識のない人にも、負い目のある者です。

負い目のある=(改 2) 返さなければならない負債を負っています=(ギ)私は負債

者です。

1:16 私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。

救い＝◀ 4991. s<sup>o</sup>t<sup>e</sup>ria (ソテリア) 46 回▶ (N) 解放、救い、福祉、繁栄、安全

力＝◀ 1411. dunamis (デュナミス) 120 回▶ (N) 力、能力

1:18 というのは、不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。

1:20 神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。

エレ 23:24 人が隠れ場に身を隠したら、わたしはその人を見ること  
ができないのか。——【主】のことば——天にも地にも、わたしは満  
ちているではないか。——【主】のことば。

1:21 彼らは神を知っていながら、神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその  
思いはむなしくなり、その鈍い心は暗くなったのです。

あがめず＝◀ 1392. doxaz<sup>o</sup> (ドクサツゾ) 6 2 回▶ 栄光を与える、あがめる、ほ  
めたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

@感謝もせず＝感謝をしないことは多くの罪の始まり

(1 テモ 4:2 それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの偽善によるものです。

(2 テサ 2:11 それで神は、**惑わす力**を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。

1:22 彼らは、自分たちは知者であると主張しながら愚かになり、

@感謝をしない結果

1:23 朽ちない神の栄光を、朽ちる人間や、鳥、獣、這うものに**似たかたち**と替えてしまいました。

似たかたち = ◀ 1504. eikón (アイコン) 23回 ▶ (N) 肖像(マタ 22:20)、似たかたち(ロマ 1:23)、

実物(ヘブ 10:1)、かたちと同じ姿(ロマ 8:29)、かたち(1 コリ 11:7)(2 コリ 3:18)、  
像(黙示 13:14、14:9、15:2、16:2、19:20、20:4)

ローマ 1:25 彼らは神の真理を偽りと取り替え、造り主の代わりに、造られた物を**拝み**、これに**仕え**ました。造り主こそ、とこしえにほめたたえられる方です。アーメン。

拝む = ◀ 4573. sebazomai (セバザマイ) 1回 ▶ 畏れる、宗教的に崇拝する、礼拝する

仕える = ◀ 3000. latreuó (ラトゥルーオ) 21回 ▶ (V) 仕える、奉仕する、礼拝する

@仕えるという単語は礼拝するという意味もある

ほとんどが「仕える」と訳されているが、たまに「礼拝する」もある

ピリ 3:3 神の御霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない私たちこそ、割礼の者なのです。

ヘブル 9:9 この幕屋は今の時を示す比喻です。それにしたがって、ささげ物といけにえが献げられますが、それらは礼拝する人の良心を完全にすることができません。

ヘブル 10:2 それができたら、礼拝する人たちは一度できよめられて、もはや罪を意識することがなくなるので、いけにえを献げることは終わったはずです。

ロマ 1:27 同じように男たちも、女との自然な関係を捨てて、男同士で情欲に燃えましました。男が男と恥ずべきことを行い、その誤りに対する当然の報いをその身に受けています。

誤り=

1:29 彼らは、あらゆる不義、悪、貪欲、悪意に満ち、ねたみ、殺意、争い、欺き、悪巧みにまみれています。また彼らは陰口を言い、

1:30 人を中傷し、神を憎み、人を侮り、高ぶり、大言壮語し、悪事を企み、親に逆らい、

1:31 浅はかで、不誠実で、情け知らずで、無慈悲です。

1:32 彼らは、そのような行いをする者たちが死に値するという神の定めを知りながら、自らそれを行っているだけでなく、それを行う者たちに同意もしているのです。

@進化論

ヨブ 17:14 その穴に向かって「あなたは私の父」と言い、うじ虫に向かって「あなたは私の母、私の姉妹」と宣言するなら、

1:24 そこで神は、彼らとその心の欲望のままに汚れに引き渡されました。そのため、彼らは互いに自分たちのからだを辱めています。

@進化論の結果この世に不道德、性的倒錯がはびこった

1:27 同じように男たちも、女との自然な関係を捨てて、男同士で情欲に燃えました。男が男と恥ずべきことを行い、その誤りに対する当然の報いをその身に受けています。

誤り = ◀ 4106. plané (プラネ) 10 回 ▶ 惑わし(マタ 27:64)、欺き(エペ 4:14)

マタ 27:64 ですから、三日目まで墓の番をするように命じてください。そうでないと弟子たちが来て、彼を盗み出し、『死人の中からよみがえった』と民に言うかもしれません。そうすると、この惑わしのほうが、前の惑わしよりもひどいものになります。」

ロマ 1:27 同じように男たちも、女との自然な関係を捨てて、男同士で情欲に燃えました。男が男と恥ずべきことを行い、その誤りに対する当然の報いをその身に受けています。

エペ 4:14 こうして、私たちはもはや子どもではなく、人の悪巧みや人を欺く悪賢い策略から出た、どんな教えの風にも、吹き回されたり、もてあそばれたりすることがなく、

2テサ 2:11 それで神は、惑わす力を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。

ヤコブ 5:20 罪人を迷いの道から連れ戻す人は、罪人のたましいを死から救い出し、また多くの罪をおおうことになるのだと、知るべきです。

2ペテ 2:18 彼らは、むなしいことを大げさに語り、迷いの中に生きている人々の間から現に逃げ出しつつある人たちを、肉欲と好色によって誘惑しています。

Ⅱ ペテ 3:17 ですから、愛する者たち。あなたがたは前もって分かっているのですから、不徳な者たちの**惑わし**に誘い込まれて、自分自身の堅実さを失わないよう、よく気をつけなさい。

1:28 また、彼らは神を知ることに価値を認めなかったので、神は彼らに無価値な思いに引き渡されました。それで彼らは、してはならないことを行っているのです。

@知ろうとしたがらない、良くない思いに引き渡され、

@ 2テサロニケ 2:11 それで神は、惑わす力を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。

2:12 それは、真理を信じないで、不義を喜んでいたすべての者が、さばかれるようになるためです。

1:30 人を中傷し、神を憎み、人を侮り、高ぶり、大言壮語し、悪事を企み、親に逆らい、

1:31 浅はかで、不誠実で、情け知らずで、無慈悲です。

(ギ) foolish, untrustworthy, heartless, unmerciful

(改 2) 1:31 わきまのない者、**約束を破る者**、情け知らずの者、慈愛のない者です。

@約束を破ることは大罪である

@ (1 コリント 6:9 あなたがたは知らないのですか。正しくない者は神の国を相続できません。思い違いをしてはいけません。淫らな行いをする者、偶像を拜む者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、

6:10 盗む者、貪欲な者、酒におぼれる者、そしる者、奪い取る者はみな、神の国を相続することができません。

黙 21:27 しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。

1:32 彼らは、そのような行いをする者たちが死に値するという神の定めを知りながら、自らそれを行っているだけでなく、それを行う者たちに同意もしているのです。

@それを行なう者に心から同意している

2:1 ですから、すべて他人をさばく者よ、あなたに弁解の余地はありません。あなたは他人をさばくことで、自分自身にさばきを下しています。さばくあなたが同じことを行っているからです。

2:4 それとも、神のいつくしみ深さがあなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かないつくしみと忍耐と寛容を軽んじているのですか。

2:14 律法を持たない異邦人が、生まれつきのままで律法の命じることを行う場合は、律法を持たなくても、彼ら自身が自分に対する律法なのです。

@ただし、救いは別のことである

@ロマ 2:26 ですから、もし割礼を受けていない人が律法の規定を守るなら、その人の無割礼は割礼と見なされるのではないのでしょうか。

ロマ 2:29 かえって人目に隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、文字ではなく、御霊による心の割礼こそ割礼だからです。その人への称賛は人からではなく、神から来ます。

@ロマ 4:15 実際、律法は御怒りを招くものです。律法のないところには違反ありません。



2:15 彼らは、律法の命じる行いが自分の心に記されていることを示しています。彼らの良心も証ししていて、彼らの心の思いは互いに責め合ったり、また弁明し合ったりさえするのです。

2:16 私の福音によれば、神のさばきは、神がキリスト・イエスによって、人々の隠された事柄をさばかれるその日に行われるのです。

@隠れたことを

2:17 あなたが自らユダヤ人と称し、律法を頼みとし、神を誇り、

2:18 みこころを知り、律法から教えられて、大切なことをわきまえているなら、

2:19 20 また、律法のうちに具体的に示された知識と真理を持っているので、目の見えない人の案内人、闇の中にいる者の光、愚かな者の導き手、幼子の教師だ、と自負しているなら、

2:20 【前節と合節】

2:22 姦淫するなど言いながら、自分は姦淫するのですか。偶像を忌み嫌いながら、神殿の物をかすめ取るのですか。

神殿の物をかすめ取る = ◀ 2416. Hierosuleó (ヒエラスレオ) ▶ (V) 神殿のものを盗む

(名詞) ◀ 2417. hierosulos (ヒラスラス) 1回 ▶ (N) 神殿のものをかすめるもの

使 19:37 皆さんは、この人たちをここに連れて来ましたが、彼らは神殿を汚した者でも、私たちの女神を冒瀆した者でもありません。

@ 神殿を汚した者 = ヒラスラス

2:26 ですから、もし割礼を受けていない人が律法の規定を守るなら、その人の無割礼は割礼と見なされるのではないのでしょうか。

見なされる= ◀ 3049. logizomai (ラギゾマイ) 41 回 ▶ みなす、考える、思う  
ローマ 6:11 同じように、あなたがたもキリスト・イエスにあって、  
自分は罪に対して死んだ者であり、神に対して生きている者だと、認めなさい。

2:29 かえって人目に隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、文字ではなく、御霊による心の割礼こそ割礼だからです。その人への称賛は人からではなく、神から来ます。

2:28 外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、外見上のからだの割礼が割礼ではないからです。(体) ★

からだ= ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

@通常新改訳聖書四版ではソマを「からだ」と訳しサルクスを「体」と訳すことによって

住み分けているが使徒 2:31、ロマ 2:28、1 コリ 15:50、コロサイ 2:11 は例外で誤植ともいえるでしょう。

3:1 それでは、ユダヤ人のすぐれている点は何ですか。割礼に何の益があるのですか。

3:2 あらゆる点から見て、それは大いにあります。第一に、彼らは神のことは委ねられました。

3:3 では、どうですか。彼らのうちに不真実な者がいたなら、その不真実は神の真実を無にするのでしょうか。

不真実= ◀ 570. apistia (アピスティア) 11 回 ▶ 不信仰、(不忠実)

真実= ◀ 4102. pistis (ピスティス) 243 回 ▶ 信仰、(信頼、忠実)

(改4)でローマ 3:3 ガラテア 5:22 以外すべて

信仰

(KJV)ではすべて信仰

3:5 では、もし私たちの不義が神の義を明らかにするのなら、私たちはどのように言うべきでしょうか。私は人間的な言い方をしますが、御怒りを下す神は不義なのでしょうか。

人間的= ◀ 444. anthrōpos(アントロパス) 554 回 ▶ (N) 人

肉的を意味する ◀ 4561. sarx (サルクス)149 回 ▶ flesh body nature ではない。

人間的と(改4)で訳された言葉

ローマ 3:5 では、もし私たちの不義が神の義を明らかにするのなら、私たちはどのように言うべきでしょうか。私は人間的な言い方をしますが、御怒りを下す神は不義なのでしょうか。 ◀ 444. anthrōpos(アントロパス) 554 回 ▶ (N) 人

ローマ 6:19 あなたがたの肉の弱さのために、私は人間的な言い方をしています。以前あなたがたは、自分の手足を汚れと不法の奴隷として献げて、不法に進みました。同じように、今はその手足を義の奴隷として献げて、聖潔に進みなさい。 ◀ 442. anthrōpinos(アントロピナス) 7 回 ▶ (A) 人、人の

第1 コリ I コリ 1:26 兄弟たち、自分たちの召しのことを考えてみなさい。人間的に見れば知者は多くはなく、力ある者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。 ◀ 4561. sarx (サルクス)149 回  
▶ flesh body nature

第2 コリ 1:17 このように願った私は軽率だったのでしょうか。それとも、私が計画することは人間的な計画であって、そのため私には、「はい、はい」は同時に「いいえ、いいえ」になるのでしょうか。  
◀ 4561. sarx (サルクス)149 回 ▶ flesh body nature

3:10 次のように書いてあるとおります。「義人はいない。一人もいない。

3:11 悟る者はいない。神を求める者はいない。

3:12 すべての者が離れて行き、だれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない。」

イザヤ 64:5 あなたは会ってくださいます。喜び、正義を行う者たちに。彼らは、あなたの道であなを心に留めます。実にあなたは、激しく怒られました。私たちはその道で久しく罪の中にいたのです。私たちは救われるでしょうか。

イザヤ 64:6 私たちはみな、汚れた者のようになり、その義はみな、不潔な衣のようです。私たちはみな、木の葉のように枯れ、その咎は風のように私たちを吹き上げます。

伝道者 7:20 この地上に、正しい人は一人もいない。善を行い、罪に陥ることのない人は。

詩篇 14:3 すべての者が離れて行きだれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない。

第1列王記 8:46 罪に陥らない人は一人もいません。ですから、彼らがあなたの前に罪ある者となったために、あなたが怒って彼らを敵に渡し、彼らが、遠くであれ近くであれ敵国に捕虜として捕らわれて行き、

3:19 私たちは知っています。律法が言うことはみな、律法の下にある者たちに対して語られているのです。それは、すべての口がふさがれて、全世界が神のさばきに服するためです。

3:20 なぜなら、人はだれも、律法を行うことによっては神の前に義と認められないからです。律法を通して生じるのは罪の意識です。(NAS)(KJV)no flesh (人)

ロマ 3:20 なぜなら、人はだれも、律法を行うことによっては神の前に義と認められないからです。律法を通して生じるのは罪の意識です。(yoshi 訳)律法は罪の知識なので

意識 = ◀ 1922. epignósis (エピグノシス) 20 回 ▶ 認識、知識、特定のことに對する知識

律法を通して生じるのは罪の意識です = (ギ)律法は罪の知識なので  
(KJV) for by the law is the  
knowledge of sin.

人 = ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

3:21 しかし今や、律法とは関わりなく、律法と預言者たちの書によって証しされて、神の義が示されました。

ロマ 4:5 しかし、働きがない人であっても、不敬虔な者を義と認め

る方を信じる人には、その信仰が義と認められます。

ロマ 8:1 こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

ロマ 10:4 律法が目指すものはキリストです。それで、義は信じる者すべてに与えられるのです。

3:22 すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。

信じることによって=(N)信仰=◀ 4102. pistis (ピステイス) 243 回▶信仰、(信頼、忠実)

★

船の右側 2020 4 月 Vol.76 の記事より浅野淳博氏(関西学院大学神学部教授)の講演内容

「クリストゥー」は「クリストス」という主語名詞が語尾変化して「クリストの」という属格名詞になったもので「ピステイス・クリストゥー」を直訳すれば、「クリストの信頼性」になると説明。

今回の聖書協会共同訳では「クリストの真実」と訳している。

なお新共同訳で「キリストへの信仰」、新改訳 2017 で「キリストを信じること」と訳されていることについては、文法上はそうとも訳し得るとした。

★

Sower #46 2019 日本聖書協会

困難をどう乗り越えたか

(島先) 今度はすこし話題を変えまして、困難をどういうふう乗り越えたか、大変だったところに焦点を当てていきたいとおもうんですけど。

(阿部) やっぱりピステイス問題ですよ。かなり遅くまで続いた議論だったと思う。初めの頃は、新約部会、訳語検討会とか、そういうレベルでは「信実」というのが圧倒的多数なのです。その頃もわたしは「信仰」で行くべきだという言い方をしていた。最終的に「真実」ということにした。ただ、そうすると、ロマ書で、どこまでを「真実」、どこからを「信仰」と訳さなきゃならないという問題が起きるんです。・・・

★

使徒 3:16 このイエスの名が、その名を信じる信仰のゆえに、あなたがたが今見て知っているこの人を強くしました。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの前で、このとおり完全なからだにしたのです。

(KJV) the faith which is by him hath given him

(NKJ) the faith which comes through Him has given him

@御名を信じる信仰のゆえに＝ 信仰とはその名を信じること

@イエスによって与えられる信仰＝ 信仰とは与えられるもの

ロマ 3:22 すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

＝ (改4・欄外) イエス・キリストの真実(間違い)

TRとRVSのどちらも同じ意味

(TR) dia Pistis(4102) Iēsous(2424 ) Christos(5547) (by faith of Jesus

Christ)(KJV) (RVS) (HUB) pisteōs Iēsou Christou (through faith from Jesus Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 2:16 しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただ①イエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちも②キリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、③キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによっては義と認められないからです。

キリストを信じることによって＝

(KJV) be justified by the faith of Chris (正しい)

(NKJ) be justified by faith in Christ (間違い)

①

(TR) dia pistis Iesous Christos (by the faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) dia pisteos Christou ⇔ Iesou (through faith Christ ⇔ from Jesus)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

②

(TR) pisteou eis Iesous Christos (have believed in Jesus Christ)(KJV)

(RVS) eis Christon Iesoun episteusamen (in Christ Jesus have believed)(HUB)

③

(TR) ek pistis Christos (by the faith of Christ)(KJV), by faith in Chris(NKJ)

(RVS) ek pisteos Christou (by faith from Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×



ガラ 3:22 しかし聖書は、すべてのものを罪の下に閉じ込めました。それは約束が、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人たちに与えられるためでした。(ギ) Pistis(4102 ) Iēsous(2424 ) Christos(5547)=イエス・キリストの信仰

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

(TR) ek pistis Iesous Christos (by faith of Jesus Christ)(KJV),

(RVS) pisteos Iesou Christou (by faith from Jesus Christ)(KJV)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×,

ピリピ 3:9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。

@正しくはキリストの信仰による

(KJV) but that which is through the faith of Christ (正しい)

(NKJ) but that which is through faith in Christ (間違い)

(ギ)(TR) Pistis(4102 ) Christos(5547)=キリストの信仰。(HUB) pisteōs Christou

3:23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、

3:24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。

値なしに=◀ 1432. dórean (ドレアン) 9回▶無料で、無料の贈り物として、目的もなく、理由もなく(改2)(ヨハ 15:25)

理由なしに= (ヨハネ 15:25) 彼らは理由なしに憎んだ。と同じ言葉

マタ 10:8 病人を癒やし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊どもを追い出しなさい。あなたがたはただで受けたのですから、ただで与えなさい。

ヨハネ 15:25 これは、『彼らはゆえもなくわたしを憎んだ』と、彼らの律法に書かれていることばが成就するためです。

ロマ 3:24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。

ガラ 2:21 私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。

黙 22:17 御霊と花嫁が言う。「来てください。」これを聞く者も「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水が欲しい者は、ただで受けなさい。

3:25 神はこの方を、信仰によって受けるべき、血による宥めのささげ物として公に示されました。ご自分の義を明らかにされるためです。神は忍耐をもって、これまで犯されてきた罪を見逃してこられたのです。

宥めのささげ物=◀ 2435. hilastérion 2回▶贖罪蓋 (改2) なだめの供え物 (共) 罪を償う供え物、(聖共)贖いの座

mercy seat(ロマ 3:25)

ヘブル 9:5 また、箱の上で、栄光のケルビムが「宥めの蓋」をおおっていました。しかし、これらについて、今は一つ一つ述べることはできません。

宥めの蓋=(改 2)贖罪蓋 (KJV) the mercyseat、(NAS)(INT) the mercy seat (ヘブ 9:5)

(へ) ◀ 3727. kapporeth ▶ ( כַּפֹּרֶת ha-kappōret) (改 2) 「あがないの蓋」  
(改 4) 「宥めの蓋」

25:17 また、純金で『宥めの蓋』を作り、その長さを二キュビト半、幅を一キュビト半とする。

宥めの蓋=◀ 3727. kapporeth ▶ ( כַּפֹּרֶת ha-kappōret) (改 2) 「あがないの蓋」 (改 4) 「宥めの蓋」

英語(KJV)(NAS) a mercy seat」(INT) mercy、(NIV) an atonement cover (西語) un propiciatorio

ただし、宗教用語としては(Wiki)恵の座(めぐみのざ、英語: mercy seat)は、ウェスレー派やホーリネス派のキリスト教教会において、説教壇の前に設置された、ひざまずいて祈るための木製ベンチ。

mercy seat は恵みの御座ではない

ヘブル 4:16 ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

(NKJ) the throne of grace

(ギ) tō thrōnō tēs charitos = (the throne of grace)

恵み=◀ 5485. charis (ハリス) 157回▶恵み、親切

3:28 人は律法の行いとは関わりなく、信仰によって義と認められると、私たちは考えているからです。

3:30 神が唯一なら、そうです。神は、割礼のある者を信仰によって義と認め、割礼のない者も信仰によって義と認めてくださるのです。

4:5 しかし、働きがない人であっても、不敬虔な者を義と認める方を信じる人には、その信仰が義と認められます。

4:15 実際、律法は御怒りを招くものです。律法のないところには違反もありません。

4:16 そのようなわけで、すべては信仰によるのです。それは、事が恵みによるようになるためです。こうして、約束がすべての子孫に、すなわち、律法を持つ人々だけでなく、アブラハムの信仰に倣う人々にも保証されるのです。アブラハムは、私たちすべての者の父です。

4:17 「わたしはあなたを多くの国民の父とした」と書いてあるとおりです。彼は、死者を生かし、無いものを有るものとして召される神を信じ、その御前で父となったのです。

@無いものを有るもののお呼びになる方=神

@アブラハムの信仰が二千年たって実現した

(改2) 区切り箇所が異なる

4:16 そのようなわけで、世界の相続人となることは、信仰によるのです。それは、恵みによるためであり、こうして約束がすべての子孫に、すなわち、律法を持っている人々にだけでなく、アブラハムの信仰にならう人々にも保証されるためなのです。「わたしは、あなたをあらゆる国の人々の父とした。」と書いてあるとおりに、アブラハムは私たちすべての者の父なのです。

4:17 このことは、彼が信じた神、すなわち死者を生かし、無いものを有るもののようにお呼びになる方の御前で、そうなのです。

4:18 彼は望み得ない時に望みを抱いて信じ、「あなたの子孫は、このようになる」と言われていたとおりに、多くの国民の父となりました。

4:19 彼は、およそ百歳になり、自分のからだですでに死んだも同然であること、またサラの胎が死んでいることを認めても、その信仰は弱まりませんでした。

4:20 不信仰になって神の約束を疑うようなことはなく、かえって信仰が強められて、神に栄光を帰し、

4:21 神には約束したことを実行する力がある、と確信していました。

4:22 だからこそ、「彼には、それが義と認められた」のです。

4:23 しかし、「彼には、それが義と認められた」と書かれたのは、ただ彼のためだけでなく、

4:24 私たちのためでもあります。すなわち、私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる私たちも、義と認められるのです。

4:25 主イエスは、私たちの背きの罪のゆえに死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられました。

よみがえられました（間違い）→ 蘇られました。

ηγερθη エイゲルセイ [彼は]蘇らされました 動詞・アオリ  
スト・受動・叙実・三人称・単数

ロマ 8:11 イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられるご自分の御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてください。

5:2 このキリストによって私たちは、信仰によって、今立っているこの恵みに導き入れられました。そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいます。

喜んでいます=◀ 2744. kauchaomai (カウハオマイ) 38回▶誇る、

5:3 それだけではなく、苦難さえも喜んでいます。それは、苦難が忍耐を生み出し、

5:4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。

5:5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

この希望は失望に終わることがありません= (共) この希望はわたしたちを欺くことはありません。

愛=◀ 26. agapé (アガペ) 116回▶ (N) 愛、真の愛

@聖霊によって = @神の愛は啓示である、啓示は聖霊による

@ローマ 9:33 「見よ、わたしはシオンに、つまずきの石、妨げの岩を置く。この方に信頼する者は失望させられることがない」と書いてあるとおりです。

ローマ 10:11 聖書はこう言っています。「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」

5:6 実にキリストは、私たちがまだ弱かったころ、定められた時に、不敬虔な者たちのために死んでくださいました。

5:8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。

@ (ヨハ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

@ (1ヨハ 3:16 キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。ですから、私たちも兄弟のために、いのちを捨てるべきです。

5:9 ですから、今、キリストの血によって義と認められた私たちが、この方によって神の怒りから救われるのは、なおいっそう確かなことです

5:10 **敵**であった私たちが、御子の死によって神と和解させていただいたのなら、和解させていただいた私たちが、御子のいのちによって救われるのは、なおいっそう確かなことです。

@敵

5:11 それだけではなく、私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を喜んでいます。キリストによって、今や、私たちは和解させていただいたのです。

喜んでいます=◀ 2744. kauchaomai (カウハオマイ) 38回▶誇る、

5:12 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に――

5:14 けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々さえも、支配しました。アダムは来たるべき方のひな型です。

@アダムはきたるべき方のひな型

@最初のアダム=すべてが死

生き

たもの

@最後のアダム=すべてが生かされる (1 コリ 15:22)

生か

す御霊 (1 コリ 15:44)

5:16 また賜物は、一人の人が罪を犯した結果とは違います。さばきの場合は、一つの違反から不義に定められましたが、恵みの場合は、多くの違反が義と認められるからです。

@コピーをミスプリントすることはたやすいがあとで全部を修正することは大変である

5:17 もし一人の違反により、一人によって死が支配するようになったのなら、なおさらのこと、恵みと義の賜物をあふれるばかり受けている人たちは、一人



の人イエス・キリストにより、いのちにあつて **支配する** ようになるのです。

@支配する＝どこに行つてもついてくる

@世界中どこに行つても日本人が日本国民であることには変わりないように。

5:18 こういうわけで、ちょうど一人の違反によつてすべての人が不義に定められたのと同様に、一人の義の行為によつてすべての人が義と認められ、いのちを与えられます。

5:19 すなわち、ちょうど一人の人の不従順によつて多くの人が罪人とされたのと同様に、一人の従順によつて多くの人が義人とされるのです。

5:20 律法が入つて来たのは、違反が増し加わるためでした。しかし、**罪**の増し加わるところに、**恵み**も満ちあふれました。

## 罪と恵み

5:21 それは、罪が死によつて支配したように、恵みもまた義によつて支配して、私たちの主イエス・キリストにより永遠のいのちに導くためなのです。

## 6章＝聖化の章

ヘブル 10:10 このみこころにしたがつて、イエス・キリストのからだは、ただ一度だけ献げられたことにより、私たちは聖なるものとされています。

6:4 私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによつて、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の栄光によつて死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいいのちに歩むためです。

η γ ε ρ θ η      エイゲルセイ      [彼が]蘇らされた      動詞・アオリ  
スト・受動・叙実・三人称・単数

よみがえられた (間違い) = 正しくは「よみがえられた」

(共)6:4 わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。

ロマ 8:11 イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられるご自分の御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてください。

。

6:6 私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが滅ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。

@受身形

σ υ ν ε σ τ α υ ρ ω θ η      スネスタウロウセイ      [彼が](彼と)共に十字架につけられた      動詞・アオリスト・受動・叙実・三人称・単数

ガラ 5:24 キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけたのです。

@受身形でない (クリスチャンがつける)

(ギ) ε σ τ α υ ρ ω σ α ν      エスタウロウサン      [彼等は]十字架に付けました      動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・複数

からだ=◀ 4983. Sōma(ソマ) 142 回▶身体、肉体、(キリストの)身体 (改4)  
では「からだ」

6:7 死んだ者は、罪から解放されているのです。

@正しくは (TR)罪から解放されて義とされている。

ロマ 6:9 私たちは知っています。キリストは死者の中からよみがえって、もはや死ぬことはありません。死はもはやキリストを支配しないのです。

よみがえって (間違い) =よみがえさせられて

ε γ ε ρ θ ε ι ς エゲルセイイス 蘇らされた[者は] 動詞・アオリスト・  
受動・分詞・主格・単数・男性

(共)ローマ 6:9 そして、死者の中から復活させられたキリストはもはや死ぬことがない、と知っています。死は、もはやキリストを支配しません。

ロマ 8:11 イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられるご自分の御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださいます。

6:11 同じように、あなたがたもキリスト・イエスにあつて、自分は罪に対して死んだ者であり、神に対して生きている者だと、認めなさい。

認めなさい=(改2)思いなさい

=◀ 3049. logizomai (ラギヅマイ) 41 回▶ みなす、考える、思う

ローマ 2:26 ですから、もし割礼を受けていない人が律法の規定を守るなら、その人の無割礼は割礼と見なされるのではないのでしょうか。

見なされる=◀ 3049. logizomai (ラギヅマイ) 41 回▶ みなす、考える、思う

λ ο γ ι ζ ε σ θ ε      ログゼッセ      [あなたたちは]見做しなさい  
動詞・現在・中間受動デポネント・命令・二人称・複数

◀ 3049. logizomai (ラギヅマイ) 41 回▶

ルカ 22:37 あなたがたに言いますが、『彼は不法な者たちとともに数えられた』と書かれていること、それがわたしに必ず実現します。わたしに関わることは実現するのです。』

ヨハ 11:50 一人の人が民に代わって死んで、国民全体が減びないですむほうが、自分たちにとって得策だということを、考えてもいない。』

使 19:27 これでは、私たちの仕事の評判が悪くなる恐れがあるばかりか、偉大な女神アルテミスの神殿も軽んじられ、全アジア、全世界が拝むこの女神のご威光さえも失われそうです。』

ロマ 2:3 そのようなことを行う者たちをさばきながら、同じことを行っている者よ、あなたは神のさばきを免れるとでも思っているのですか。

ロマ 2:26 ですから、もし割礼を受けていない人が律法の規定を守

るなら、その人の無割礼は割礼と見なされるのではないのでしょうか。

@ (1ヨハ 3:20) たとい自分の心が責めてもです。なぜなら、神は私たちの心よりも大きく、そして何もかもご存じだからです。

6:12 ですから、あなたがたの死ぬべきからだを罪に支配させて、からだの欲望に従ってはいけません。

からだ=◀ 4983. Sóna(ソマ) 142回▶身体、肉体、(キリストの)身体 (改4)では「からだ」  
からだ(2回目)=それ (指示代名詞)

6:13 また、あなたがたの手足を不義の道具として罪に献げてはいけません。むしろ、死者の中から生かされた者としてあなたがた自身を神に献げ、また、あなたがたの手足を義の道具として神に献げなさい。

6:14 罪があなたがたを支配することはないからです。あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるのです。

6:16 あなたがたは知らないのですか。あなたがたが自分自身を奴隷として献げて服従すれば、その服従する相手の奴隷となるのです。つまり、罪の奴隷となって死に至り、あるいは従順の奴隷となって義に至ります。

6:17 神に感謝します。あなたがたは、かつては罪の奴隷でしたが、伝えられた教えの規範に心から服従し、

6:18 罪から解放されて、義の奴隷となりました。

6:20 あなたがたは、罪の奴隷であったとき、義については自由にふるまって

いました。

6:21 ではそのころ、あなたがたはどんな実を得ましたか。今では恥ずかしく思っているものです。それらの行き着くところは死です。

6:22 しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖潔に至る実を得ています。その行き着くところは永遠のいのちです。

6:23 罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

@報酬＝自分の行いによる、 賜物＝無条件で与えられる

## 7章

@ 内的戦いからの解放

@ 7章には 52回「I 私」という言葉が出てくる。8章には「Lord主」がたくさん出てくる

7:6 しかし今は、私たちは自分を縛っていた律法に死んだので、律法から解かれました。その結果、古い文字にはよらず、新しい御霊によって仕えているのです。

(KJV) But now we are delivered from the law, that being dead wherein we were held; that we should serve in newness of spirit, and not in the oldness of the letter.

(ギ) 文字の古さによってではなく、霊の新しさによって仕えている

@新しい御霊によって

@ (共) “霊” に従う新しい生き方で仕えるようになっているので

す。

7:8 しかし、罪は戒めによって機会をとらえ、私のうちにあらゆる欲望を引き起こしました。律法がなければ、罪は死んだものです。

7:11 罪は戒めによって機会をとらえ、私を欺き、戒めによって私を殺したのです。

7:15 私には、自分のしていることが分かりません。自分がしたいと願うことはせずに、むしろ自分が憎んでいることを行っているからです。

7:16 自分のしたくないことを行っているなら、私は律法に同意し、それを良いものと認めていることとなります。

7:17 ですから、今それを行っているのは、もはや私ではなく、私のうちに住んでいる罪なのです。

7:18 私は、自分のうちに、すなわち、自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。私には良いことをしたいという願いがいつもあるのに、実行できないからです。

肉 = ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

7:20 私が自分でしたくないことをしているなら、それを行っているのは、もはや私ではなく、私のうちに住んでいる罪です。

7:22 私は、内なる人としては、神の律法を喜んでいます、

@神の律法 (ガラ 6:2) キリストの律法

律法 = ◀ 3551. nomos (ナマス) 196 回 ▶ 割り当てられているもの、使用法、法律、律法、旧約聖書全般

7:23 私のからだには異なる律法があつて、それが私の<sup>心</sup>の律法に対して戦いを挑み、私を、からだにある罪の律法のうちにとりこにしていることが分かるのです。

(2017 年版初版訂正分) (注釈部分) 8 章 2 節まで同様 × → 8 章 2 まで同様 ○

心 = ◀ 3563. nous (ヌース) 24 回 ▶ 思い、理解、知性

新改訳では何度も「心」と訳されるが正しくは「思い」

第 1 コリント 2:16 「だれが主の心を知り、主に助言するというのですか。」しかし、私たちはキリストの<sup>心</sup>を持っています。

7:24 私は本当にみじめな人間です。だれがこの死の<sup>からだ</sup>から、私を救い出してくれるのでしょうか。

からだ = ◀ 4983. Sōma(ソマ) 142 回 ▶ 身体、肉体、(キリストの)身体 (改 4) では「からだ」

## 8 章

@ キリストによって与えられる勝利

8:1 こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

@TR 訳では「肉にしたがって歩まず、御霊に従った歩むもの」という言葉が含まれている。

@当然、英語主要聖書である(NAS)(NIV)(ESV)のすべてに欠けている。

@日本語の三つの訳全て(新改訳、口語訳、新共同訳)にこの部分が



かけている。

@ただし Bible Hub には載っている。

8:2 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法が、罪と死の律法からあなたを解放したからです。(改4)

8:2 なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。(改2)

@取り消せない2つの原理 (エステル8 : 8)

@ただし罪と死の原理は今でも有効、それゆえ私たちは1度は死ぬ

@原理 = (へ) トーラ

8:3 肉によって弱くなったため、律法にできなくなったことを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪深い肉と同じような形で、罪のきよめのために遣わし、肉において罪を処罰されたのです。

ロマ 8:5 肉に従う者は肉に属することを考えますが、御霊に従う者は御霊に属することを考えます。

(ギ) 肉によるものは肉の (思い or 考え)、御霊によるものは御霊のそれ

考えますが = ◀ 5426. phroneó (フラネィオ) 26回 ▶ (V) 理解する、考える、思う (マタ 16:23)

8:6 肉の思いは死ですが、御霊の思いはいのちと平安です。

思い = ◀ 5427. phronéma (フラネマ) 4回 ▶ (N) 思い、考え、目的、願望

@4回中4回ともローマ8章である。

ロマ 8:6 肉の思いは死ですが、御霊の思いはいのちと平安です。

ロマ 8:7 なぜなら、肉の思いは神に敵対するからです。それは神の律法に従いません。いや、従うことができないのです。

ロマ 8:27 人間の心を探る方は、御霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころにしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださるからです。

@肉の思い=肉体のことではなく魂の問題

@ヨハネ 6:63 いのちを与えるのは御霊です。肉は何の益ももたらしません。わたしがあなたがたに話してきたことばは、霊であり、またいのちです。

魂の問題を肉と表現しているのはおそらくギリシャ哲学の影響かも知れません。

そのギリシャ哲学の影響とは、ひとことで言うならば肉体の蔑視です。プラトンはギリシャ思想史上初めて靈魂不滅の原理を打ち出した人物と言われています。そこには霊肉二元論に立った靈魂の尊重、そしてその背中合わせに肉体の蔑視の考え方がありました。

8:7 なぜなら、肉の思いは神に敵対するからです。それは神の律法に従いません。いや、従うことができないのです。

8:8 肉のうちにある者は神を喜ばせることができません。

8:9 しかし、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉のうちにはではなく、御霊のうちにいるのです。もし、キリストの御霊を持っていない人がいれば、その人はキリストのものではありません。

第1ヨハネ 5:12 御子と結ばれている人にはこの命があり、神の子と結ばれていない人にはこの命がありません。

8:10 キリストがあなたがたのうちにおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、御霊が義のゆえにいのちとなっています。

いのちとなっています=(改2)生きています

8:11 イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられるご自分の御霊によって、あなたがたの死ぬべきからでも生かしてくださいます。

8:12 ですから、兄弟たちよ、私たちには義務があります。肉に従って生きなければならぬという、肉に対する義務ではありません。

8:13 もし肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬこととなります。しかし、もし御霊によってからだの行いを殺すなら、あなたがたは生きています。

肉=◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回▶肉、体、肉の欲、人の本性、親族

からだ=◀ 4983. Sóna(ソマ) 142 回▶身体、肉体、(キリストの)身体 (改4)では「からだ」

@ (すなわち) 御霊によって殺すなら、御霊によって生きる。

8:14 神の御霊に導かれる人はみな、神の子どもです。

子ども=◀ 5207. Huios (ウィヤース) 382 回▶息子、子孫

用法:「アブラハムの子、ダビデの子」 etc

愛する子、子孫、的な用法で用いられる

ガラ 3:26 あなたがたはみな、信仰により、キリスト・イエスにあって神の子どもです。

ガラ 4:6 そして、あなたがたが子であるので、神は「アバ、父よ」と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。

」

子供を意味する他の言葉

(ギ) ◀ 3516. *népios* ▶ 幼子(1 コリ 3:1)、2歳の子、赤ちゃん

(ギ) ◀ 3813. *paidion* (パイデアン) 52回▶幼子(マタ 2:8)、(歌を歌える程度の子供(マタ 11:16)

(ギ) ◀ 5043. *Teknon* (テクナーン) 99回▶子ども、子(呼びかけ、マタイ 9:2) 一般的な意味での子ども、逸話、たとえ話によく出てくる

@テクナーンの主な個所

マタ 2:18 「ラマで声がする。泣き、そして嘆き叫ぶ声。ラケルがその子らのために泣いている。ラケルは慰められることを拒んだ。子らがもういないからだ。

マタ 3:9 『われわれの父はアブラハムだ』と心の中で言うような考えではいけない。あなたがたに言うが、神は、この石ころからでも、アブラハムの子孫を起こすことができになるのです。

マタ 7:11 してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありましょう。

マタ 9:2 すると、人々が中風の人を床に寝かせたままで、みもとに運んで来た。イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。しっかりしなさい。あなたの罪は赦された」と言われた。

マタ 10:21 兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子どもたちは両親に立ち逆らって、彼らを死なせます。

マタ 15:26 すると、イエスは答えて、「子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくないことです」と言われた。

マタ 18:25 しかし、彼は返済することができなかったので、その主人は彼に、自分も妻子も持ち物全部も売って返済するように命じた。

マタ 19:29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子、あるいは畑を捨てた者はすべて、その幾倍もを受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

マタ 21:28 ところで、あなたがたは、どう思いますか。ある人にふたりの息子がいた。その人は兄のところに来て、『きょう、ぶどう園に行ってお働いてくれ』と言った。

8:15 あなたがたは、人を再び恐怖に陥れる、奴隷の霊を受けたのではなく、**子とする**御霊を受けたのです。この御霊によって、私たちは「アバ、父」と呼びます。

子とする = ◀ 5206. huiiothesia (ウイオテシア) 5回 ▶ (N) 養子

ロマ 8:23 そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にしてくださいこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。

ロマ 9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。

ガラ 4:5 これは律法の下にある者を贖い出すため、その結果、私たちが子としての身分を受けるようになるためです。

エペ 1:5 神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

8:16 御霊ご自身が、私たちの**霊とともに**、私たちが神の子どもであることを

証ししてくださいます。

。

@私たちの霊とともに

(ギリ)(to pneumatikoi hemon)

(英)(the spirit us)

子ども = ◀ 5043. Teknon (テクナーン) 99 回 ▶

8:17 子どもであるなら、相続人でもあります。私たちはキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているのですから、神の相続人であり、キリストとともに共同相続人なのです。

8:18 今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないと思えます。

@ I ペテ 5:10 あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあって永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみの後で回復させ、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。

8:19 被造物は切実な思いで、神の子どもたちが現れるのを待ち望んでいます。

出 3:17 また、人に言われた。「あなたが妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、大地は、あなたのゆえにのろわれる。あなたは一生の間、苦しんでそこから食を得ることになる。

8:20 被造物が虚無に服したのは、自分の意志からではなく、服従させた方によるものなので、彼らには望みがあるのです。

8:21 被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由にあずかります。

8:22 私たちは知っています。被造物のすべては、今に至るまで、ともにうめき、ともに産みの苦しみをしています。

ともにうめき＝◀ 4959. sustenazó (ステナツグ) 1回▶うめく、一緒にうめく

「◀ 4862. Sun (スーン) 1 2 9回▶一緒に」＋「◀ 4727. Stenazó (ステナツグ) 6回▶うめく」

。  
@ともにうめき、、、(8:26) 同じようにして、、被造物全体がうめいているのはとりなしである

@ (イザヤ 63:9) 彼らが苦しむときには、いつも主も苦しみ、ご自身の使いが彼らを救った。その愛とあわれみによって主は彼らを贖い、昔からずっと、彼らを背負い、抱いて来られた。

8:23 それだけでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、子にしてくださいこと、すなわち、私たちのからだを贖われることを待ち望みながら、心の中でうめいています。

子にしてくださいこと＝◀ 5206. huiotesia (ウイオテシア) 5回▶(N) 養子。

8:24 私たちは、この望みとともに救われたのです。目に見える望みは望みではありません。目で見ているものを、だれが望むでしょうか。

とともに=(改2)よって

(KJV) For we are saved by hope:(～によって)

(NKJ) For we were saved in this hope (～にあって)

(NAS) For in hope we have been saved (～にあって)

8:25 私たちはまだ見ていないものを望んでいるのですから、忍耐して待ち望みます。

8:26 同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです。

とりなし=◀ 5241. huperentugchanó (フペルエンテュンハノ) 1回▶熱心なとりなし

この個所は「熱心なとりなし」と訳すべきだった。

通常、とりなしを意味する言葉は「◀ 1793. entugchanó (エンテュンハノ) 5回▶」だが、その言葉の前に「◀ 5228. huper (フペル) 155回▶」が連結している。

動詞にフペルを連結させることによって「極めて」「熱心に」「圧倒的な」的な協調がなされる。

その良い例はローマ 8 章 37 節の「圧倒的勝利者◀ 5245. hupernikaó (フペルニカオ) 1回▶」という言葉です。

ローマ 8:37 しかし、これらすべてにおいても、私たちが愛して  
くださった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です。

この言葉は「勝利するを意味する◀ 3528. nikaó (ニカオ)28回▶」に「きわめて exceedingly (KJV・1テサ 3:10)」を意味する「◀ 5228. huper (フペル) 155回▶」を連結させた単語です。



フペルは連結させないで形容詞的な使い方をすることもまれにある。

熱心に＝◀ 5228. huper (フペル) 155 回▶きわめて exceedingly (KJV・1 テサ 3:10)

第1 テサロニケ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを補うことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ただし通常フペルは前置詞として「～の上に、～の為に」と訳される。

@御霊のうめきはとりなし

うめき＝◀ 4726. Stenagmos (ステナグモース) 2回▶うめく、ため息をつく

使 7:34 わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみを確かに見た。また彼らのうめきを聞いた。だから、彼らを救い出すために下って来たのだ。今、行け。わたしは、あなたをエジプトに遣わす。』

ロマ 8:26 同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです。

マルコ 8 : 1 2 は別の単語

深くため息をついて＝◀ 389. Anastenazó (アナステナゾ)  
1回▶うめく、深くため息をつく

マルコ 8:12 イエスは、心の中で深くため息をついて、こう言われた。「この時代はなぜ、しるしを求めるのか。まこと

に、あなたがたに言います。今の時代には、どんなしるしも与えられません。」

8:27 人間の心を探る方は、御霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころにしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださるからです。

とりなしする = ◀ 1793. entugchanó (エンンテュンハノ) 5回 ▶ 懇願する。嘆願する。

(偶然に) 出会う、暗示的に協議する。

8:28 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

愛する (イエス = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、

8:29 神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。

かたちと同じ姿 = ◀ 1504. eikón (アイコン) 23回 ▶ (N) 肖像(マタ 22:20)、似たかたち(ロマ 1:23)、

実物(ヘブ 10:1)、かたちと同じ姿(ロマ 8:29)、かたち(1コリ 11:7)(2コリ 3:18)、

像(黙示 13:14、14:9、15:2、16:2、19:20、20:4)

1 ヨハ 3:2 愛する者たち、私たちは今すでに神の子どもです。やがてどのようになるのか、まだ明らかにされていません。しかし、私たちは、キリストが現れたときに、キリストに似た者になることは知っています。キリストをありのままに見るからです。

ヘブル 12:2 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

2 コリ 3:18 私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

8:30 神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。

栄光をお与えになりました = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2 回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

8:31 では、これらのことについて、どのように言えるでしょうか。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。

イザヤ 54:17 あなたを攻めるために作られる武器は、どれも役に立たなくなる。また、あなたを責め立てるどんな舌も、さばきのときに、あなたがそれを不義に定める。これが、【主】のしもべたちの受け継

ぐ分、わたしから受ける彼らの義である。——【主】のことば。」

8:32 私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。

8:33 だれが、神に選ばれた者たちを訴えるのですか。神が義と認めてくださるのです。

8:34 だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです。

とりなしする = ◀ 1793. entugchanó (エンンテュンハノ) 5回 ▶ 懇願する。嘆願する。

(偶然に)出会う、暗示的に協議する。

ヘブル 7:25 したがってイエスは、いつも生きていて、彼らのためにとりなしをしておられるので、ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことができになります。

@神の右の座 (ローマ 8:34) (使徒 2:33) (コロサイ 3:1) (ヘブル 10:12) (1 ペテロ 3:22)

右 = 親密さをあらわす。

ヨハネ 21:20) イエスの胸元に寄りかかり = (改 2) イエスの

右側にいて =

8:35 だれが、私たちをキリストの愛から引き離すのですか。苦難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。

愛 = ◀ 26. agapé (アガペ) 116回 ▶ (N) 愛、真の愛

8:36 こう書かれています。「あなたのために、私たちは休みなく殺され、屠られる羊と見なされています。」

1 コリ 4:11 今この時に至るまで、私たちは飢え、渇き、着る物もなく、ひどい扱いを受け、住む所もなく、

2 コリ 6:8 また、ほめられたりそしられたり、悪評を受けたり好評を博したりすることによって、自分を神のしもべとして推薦しているのです。私たちは人をだます者のように見えても、真実であり、

2 コリ 11:23 彼らはキリストのしもべですか。私は狂気したように言いますが、私は彼ら以上にそうです。労苦したことはずっと多く、牢に入れられたこともずっと多く、むち打たれたことははるかに多く、死に直面したこともたびたびありました。

11:24 ユダヤ人から四十に一つ足りないむちを受けたことが五度、

11:25 ローマ人にむちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度、一昼夜、海上を漂ったこともあります。

11:26 何度も旅をし、川の難、盗賊の難、同胞から受ける難、異邦人から受ける難、町での難、荒野での難、海上の難、偽兄弟による難にあい、

11:27 勞し苦しみ、たびたび眠らずに過ごし、飢え渇き、しばしば食べ物もなく、寒さの中に裸でいたこともありました。

8:37 しかし、これらすべてにおいても、私たちを愛して下さった方によっ

て、私たちは**圧倒的な勝利者**です。

愛して (イエス=◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回▶愛する、

@ (1ヨハ 5:4) 神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

2 コリント 4:11 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されています。それはまた、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において現れるためです。

2 コリント 6:9 人に知られていないようでも、よく知られており、死にかけているようでも、見よ、生きており、懲らしめられているようでも、殺されておらず、

圧倒的勝利者=◀ 5245. hupernikaó (フペルニカオ) 1 回▶

=「きわめて exceedingly (KJV・1テサ 3:10)」を意味する「◀ 5228. huper (フペル) 155 回▶」と

「勝利するを意味する◀ 3528. nikaó (ニカオ)28 回▶」を組み合わせた単語このフペルという言葉と連結させて強調する表現はローマ 8 章 26 節にもみられる

ローマ 8:26 同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです。

とりなしてくださる=◀ 5241. huperentugchanó (フペルエンテュンハノ) 1 回▶熱心なとりなしする

第1テサロニケ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを補うことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

フペルは連結させないで形容詞的な使い方をすることもある。

熱心に= ◀ 5228. huper (フペル) 155回 ▶ きわめて exceedingly (KJV・1テサ 3:10)

しかし、通常フペルは前置詞として「～の上に、～の為に」と訳される

。

@御霊のうめきはとりなし

「◀ 3528. nikaó (ニカオ)28回 ▶ 勝利する」

8:38 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、

8:39 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

愛= ◀ 26. agapé (アガペ) 116回 ▶ (N) 愛、真の愛

9:3 私は、自分の兄弟たち、肉による自分の同胞のためなら、私自身がキリストから引き離されて、のろわれた者となってもよいとさえ思っています(2172)。

思っています=(改2) 願いたいのです

思っています= ◀ 2172. euchomai (ユーハマイ) 7回 ▶ 祈る、願う、思う(ローマ 9:3)、待ちわびる(使徒 27:29)

使 26:29 しかし、パウロはこう答えた。「わずかな時間であろうと長い時間であろうと、私が神に願っているのは(2172)、あなたばかりでなく今日私の話を聞いておられる方々が、この鎖は別として、みな私のようになつてくださることです。」

使 27:29 どこかで暗礁に乗り上げるのではないかと恐れて、人々は船尾から錨を四つ投げ降ろし、夜が明けるのを待ちわびた(2172)。

第2コリ 13:7 私たちは、あなたがたがどんな悪も行うことのないように、神に祈っています。・・・

9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです。

子とされること = ◀ 5206. huiiothesia (ウイオテシア) 5回 ▶ (N) 養子。

礼拝 = ◀ 2999. latreia (ラトラヤ) 5回 ▶ (N) 礼拝、神に仕えること、神殿での奉仕

(NKJ)(KJV) the service of God

ヨハ 16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

ロマ 9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼



拝です。

ヘブル 9:1 さて、初めの契約にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました。

ヘブル 9:6 さて、これらの物が以上のように整えられたうえで、祭司たちはいつも第一の幕屋に入って、礼拝を行います。

9:5 父祖たちも彼らのものです。キリストも、肉によれば彼らから出ました。キリストは万物の上であり、とこしえにほむべき神です。アーメン。

肉によれば=(改2)人としては

9:7 アブラハムの子どもたちがみな、アブラハムの子孫だということではありません。むしろ、「イサクにあって、あなたの子孫が起こされる」からです。

@イサク=約束 (の子)

9:8 すなわち、肉の子どもがそのまま神の子どもなのではなく、むしろ、約束の子どもが子孫と認められるのです。

9:13

愛する (イエス=◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶愛する

9:17 聖書はファラオにこう言っています。「このことのために、わたしはあなたを立てておいた。わたしの力をあなたに示すため、そうして、わたしの名を全地に知らしめるためである。」

ヨシュア 11:20 彼らの心を頑なにし、イスラエルに立ち向かって戦わせたのは、【主】から出たことであつた。それは、彼らを容赦なく聖絶するため、【主】がモーセに命じられたとおりに彼らを根絶やしにするためであつた。

9:18 ですから、神は人をみこころのままにあわれみ、またみこころのままに頑なにされるのです。

@みこころのままにかたくなにされる

9:21 陶器師は同じ土のかたまりから、あるものは尊いことに用いる器に、別のものは普通の器に作る権利を持っていないのでしょうか。

第2テモテ 2:20 大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。ある物は尊いことに、ある物は卑しいことに用いられます。

9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

その滅ぼされるべき怒りの器を＝（ギ）滅びのために形作られた怒りの器

（形作る）＝◀ 2675. Katartizó（カタルチゾ） 1 3回▶ 完全に、準備する、一つに合わせる、繕う

マタイ 21:16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

マルコ 1:19 また少し先に行き、ゼバダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

ルカ 6:40 弟子は師以上の者ではありません。しかし、だれでも**十分に訓練を受ければ**、自分の師のようにはなります。

ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼ**される**はずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

Ⅱコリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。**完全になりなさい**。慰めを受けなさい。思いを一つにきなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

ガラ 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を**正して**あげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

Iテサ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを**補う**ことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ヘブル 10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを**備えて**くださいました。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで**造られた**ことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

ヘブル 13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを整え、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

@べき

9:25

愛する (イエス=◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶愛する、

愛する (イエス=◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶愛する、

9:33 「見よ、わたしはシオンに、つまずきの石、妨げの岩を置く。この方に信頼する者は失望させられることがない」と書いてあるとおりです。

ロマ 10:1 兄弟たちよ。私の心の願い、彼らのために神にささげる祈りは、彼らの救いです。

願い=◀ 2107. eudokia (ユダキア) 9回▶(N)よろこばしいこと、親切な意図、喜び、善、願い

祈り=◀ 1162. deésis (デイセス) 18回▶(N)祈り、願い(エペソ 6:18)、叫び(1ペテロ 3:12)、必要、

10:2 私は、彼らが神に対して熱心であることを証しますが、その熱心は知識に基づくものではありません。

@ (箴言 19:2) 熱心だけで知識のないのはよくない。急ぎ足の者はつまずく。

10:4 律法が目指すものはキリストです。それで、義は信じる者すべてに与えられるのです。

目指すもの=◀ 5056. telos (テラス)41回▶ 終わり、イベント、物事、目的、目標

律法が目指すものはキリストです =(改 2) 10:4 キリストが律法を終わらせられたので、信じる人はみな義と認められるのです。

=(KJV) For Christ is the end of the

law

=(ギリ) telos gar nomou Christos

=(直訳) aim for of law Christ

=(エターナル TR)キリストは律法の完成

であられる

@終わらせられた= (ギリ) 目的を達成させられた

10:6 しかし、信仰による義はこう言います。「あなたは心の中で、『だれが天に上るのか』と言ってはならない。」それはキリストを引き降ろすことです。

10:7 また、「『だれが深みに下るのか』と言ってはならない。」それはキリストを死者の中から引き上げることです。

10:8 では、何と書いていますか。「みことばは、あなたの近くにあり、あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは、私たちが宣べ伝えている信仰のことばのことです。

みことば、ことば=4487. rhéma (フレマ) 70回▶ ことば

10:9 なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

告白する = ◀ 3670. *homologeó* (ハマロゲオ) 26 回 ▶ 同じことを言う、同意する、約束する、告白する

@告白 = (ギ) オモロゲス = 同じことを言う (ただしこの箇所についてはホモロゲスではなくレーマらしい)

(ギ) もし、あなたの口でイエスが主であるとレマを告白するなら・・・

10:10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

10:11 聖書はこう言っています。「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」

信頼する = ◀ 4100. *pisteuó* (ピストゥオ) 244 回 ▶ 信じる、信頼する

ギリシャ語で「ガケから身を投げる」意味があると聞いたが根拠は不明

10:15 遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」と書いてあるようにです。

マタイ 10:27 わたしが暗闇であなたがたに言うことを、明るみで言いなさい。あなたがたが耳もとで聞いたことを、屋上で言い広めなさい。

10:16 しかし、すべての人が福音に従ったのではありません。「主よ。私たちが聞いたことを、だれが信じたか」とイザヤは言っています。

@人 = (N I V) イスラエル人

10:17 ですから、信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについての **ことば** を通して実現するのです。

@ことば = (ギ) レーマ (定冠詞がついていない)

@信仰のためにいつも主から語りかけをうける必要がある

祈りに答えられるために必要なもの = 信仰

信仰を得るのに必要なもの = 聞くこと (レーマ)

10:18 では、私は尋ねます。彼らは聞かなかったのでしょうか。いいえ、むしろ、「その響きは全地に、その **ことば** は、世界の果てまで届いた」のです。

@ことば = (へ) レーマ

10:19 では、私は尋ねます。イスラエルは知らなかったのでしょうか。まず、モーセがこう言っています。「わたしは、民でない者たちであなたがたのねたみを引き起こし、愚かな国民であなたがたの 怒りを燃えさせる。」

怒りを燃えさせる = ◀ 3949. parorgizó (パラルギヅ) 2回 ▶ けしかける、怒る

エペソ 6:4 父たちよ。自分の子どもたちを **怒らせてはいけません**。  
むしろ、主の教育と訓戒によって育てなさい。

11:1 それでは尋ねますが、神はご自分の民を退けられたのでしょうか。決してそんなことはありません。この私もイスラエル人で、アブラハムの子孫、ベニヤミン族の出身です。

決してそんなことはありません=(改 2)@絶対にそんなことはありません。

11:6 恵みによるのであれば、もはや行いによるものではありません。そうでなければ、恵みが恵みでなくなります。

私たちが知らなければならないことは、私たちは恵みによって救われたということです。

エペソ

2:8 あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。

2:9 行いによるものではありません。だれも誇ることもないためです。

2:10 私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。

11:7 では、どうなるのでしょうか。イスラエルは追い求めていたものを獲得できませんでした。**選ばれた者**は獲得しましたが、他の者は、かたくなにされたのです。

マタイ

22:11 ところで、王が客を見ようとして入って来ると、そこに婚礼の礼服を着ていない者がひとりいた。

22:12 そこで、王は言った。『あなたは、どうして礼服を着ないで、ここに入って来たのですか。』しかし、彼は黙っていた。



22:13 そこで、王はしもべたちに、『あれの手足を縛って、外の暗やみに放り出せ。そこで泣いて歯ざしりするのだ』と言った。

22:14 招待される者は多いが、選ばれる者は少ないのです。」

11:8 「神は今日に至るまで、彼らに鈍い心と見ない目と聞かない耳を与えられた」と書いてあるとおりです。

鈍い心=(ギ)深い眠りの霊(pneuma katanyxeos)

深い眠り ◀(N) 2659. katanuxis (カタヌクセス) 1

回▶

イザヤ 29:9 のろくなれ。驚け。目を堅くつぶって見えなくなれ。彼らは酔うが、ぶどう酒によるのではない。ふらつくが、強い酒によるのではない。

29:10 【主】が、あなたがたの上に深い眠りの霊を注ぎ、あなたがたの目、預言者たちを閉じ、あなたがたの頭、先見者たちをおおわれたから。

11:9 ダビデもこう言います。「彼らの食卓は、彼らにとってわなとなり、網となり、つまずきとなり、報いとなれ。

11:10 その目はくらんで見えなくなり、その背はいつまでもかがんでおれ。」

この御言葉は、ダビデが詩編で語った言葉の引用です。

詩編 69:22 彼らの前の食卓はわなとなれ。彼らが栄えるときには、それが落とし穴となれ。

69:23 彼らの目は暗くなって、見えなくなれ。彼らの腰をいつもよろけさせてください。

新約聖書で旧約聖書が引用されているときに、引用もとを見る人はどれぐらいいるのでしょうか？

それを読むならさまざまな発見があることでしょう。

たとえば、その1節前の御言葉は次のような言葉です。

詩編 69:21 彼らは私の食物の代わりに、苦味を与え、私が渴いたときには酢を飲ませました。

ルカ 23:34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

11:11 それでは尋ねますが、彼らがつまずいたのは倒れるためでしょうか。決してそんなことはありません。かえって、彼らの背きによって、救いが異邦人に及び、イスラエルにねたみを起こさせました。

11:12 彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばらしいものをもたらすことでしょう。

彼らがみな救われること=(改2)彼らの完成= ◀ 4138. pléróma (プレイロマ) 18回 ▶ (N) 満たし、

継ぎ切れ(欠けを満たすもの)(マタ 9:16)、いっぱい(マルコ 6:43)

満ち満ちた豊かさ(ヨハネ 1:16)、要求を満たす(ロマ 13:10)、満ち溢れて(ロマ 15:29)

マタ 9:16 だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどくなるからです。

マル 6:43 そして、パン切れを十二のかごいっぱいに集め、魚の残りも集めた。

ヨハ 1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。

ロマ 11:12 彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばらしいものをもたらすことでしょう。

ロマ 13:10 愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は律法の要求を満たすものです。

ロマ 15:29 あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満ちあふれて行くことになるかと分かっています。

@失敗、彼らの完成は

@ユダヤ民族の救いのときこそ、再臨のとき。歴史を通じて彼らは11回も絶滅の危機があった

11:13 そこで、異邦人であるあなたがたに言いますが、私は異邦人への使徒ですから、自分の務めを重く受けとめています。

ガラテア 2:8 ペテロに働きかけて、割礼を受けている者への使徒とされた方が、私にも働きかけて、異邦人への使徒としてくださったからでした。

重く受けとめています= ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重く

する(ロマ 11:13) ★★

11:15 もし彼らの捨てられることが世界の和解となるなら、彼らが受け入れられることは、死者の中からのいのちでなくて何でしょうか。

11:16 麦の初穂が聖なるものであれば、こねた粉もそうなのです。根が聖なるものであれば、枝もそうなのです。

11:17 枝の中のいくつかが折られ、野生のオリーブであるあなたはその枝の間に接ぎ木され、そのオリーブの根から豊かな養分をともに受けているのなら、  
11:18 あなたはその枝に対して誇ってはいけません。たとえ誇るとしても、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えているのです。

11:20 そのとおりです。彼らは不信仰によって折られましたが、あなたは信仰によって立っています。思い上がることなく、むしろ恐れなさい。

@子供がほしくないのに生む親はいるけど、養子をもらうのは本当にほしい人だけ

11:24 あなたが、本来野生であるオリーブから切り取られ、元の性質に反して、栽培されたオリーブに接ぎ木されたのであれば、本来栽培された枝であった彼らは、もっとたやすく自分の元のオリーブに接ぎ木されるはずです。

11:25 兄弟たち。あなたがたが自分を知恵のある者と考えないようにするために、この奥義を知らずにいてほしくはありません。イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時が来るまでであり、

@奥義、

@一部、、、異邦人の完成のなる時まで

満ちる時＝「時」は補足＝ ◀ 4138. pléróma (プレイロマ) 18回▶ (N) 満ちたし、

継ぎ切れ(欠けを満たすもの)(マタ 9:16)、いっぱい(マルコ 6:43)

満ち満ちた豊かさ(ヨハネ 1:16)、要求を満たす(ロマ 13:10)、満ち溢れて(ロマ 15:29)

マタ 9:16 だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどくなるからです。

マル 6:43 そして、パン切れを十二のかごいっぱいに集め、魚の残りも集めた。

ヨハ 1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。

ロマ 11:12 彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばらしいものをもたらすことでしょう。

ロマ 13:10 愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は律法の要求を満たすものです。

ロマ 15:29 あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満ちあふれて行くことになると分かっています。

11:26 こうして、イスラエルはみな救われるのです。「救い出す者がシオンから現れ、ヤコブから不敬度を除き去る。

@こうして、、、みな救われる=全員でない(マタイ)？

11:29 神の賜物と召命は、取り消されることがないからです。(改4)

11:29 神の賜物と召命とは変わることがありません。

@(伝道 3:14) 私は知った。神のなさることはみな永遠に変わらないことを。それに何かをつけ加えることも、それから何かを取り去ることもできない。神がこのことをされたのだ。人は神を恐れなければならない。

11:31 それと同じように、彼らも今は、あなたがたの受けたあわれみのゆえに不従順になっていますが、それは、彼ら自身も今あわれみを受けるためです。

@あなたがたの受けたあわれみによって、、、彼ら自身もあわれみを受けるためなのです。

11:34 「だれが主の 心 を知っているのですか。だれが主の助言者になったのですか。

心= ◀ 3563. nous (ヌース) 24 回 ▶ 思い、理解、知性

新改訳では何度も「心」と訳されるが正しくは「思い」

11:36 すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。

12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたさきげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

礼拝= ◀ 2999. latreia (ラトラーヤ) 5回 ▶ (N) 礼拝、神に仕えること、神殿での奉仕

(NKJ)(KJV) the service of God

ヨハ 16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

ロマ 9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ヘブル 9:1 さて、初めの契約にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました。

ヘブル 9:6 さて、これらの物が以上のように整えられたうえて、祭司たちはいつも第一の幕屋に入って、礼拝を行います。

@(改 4)で「礼拝」という言葉は新約聖書に 50 回、「拝む」は登場します。

ほとんどは ◀ 4352. proskuneó (プラスクネオ) 60回 ▶ 敬意を表す。ひざまづく、礼拝する、崇拝する、拝む

勧めます=(改 2)お願いします。

この言葉は、マタイ 8:31 で「悪霊が豚が懇願した」とあるこの言葉と同じ言葉

勧めます= ◀ (V) 3870. Parakaleó (パラカレオ) 109回 ▶ 励ます、慰める、お願いする、懇願する

## パラカレオの用法

励ます、

I コリ 14:31 だれでも学び、だれでも励ましが受けられるように、だれでも一人ずつ預言することができるのです。

慰める、

マタイ 5:4 悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるからです。  
第2コリ 1:4 神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。

お願いする、

マタ 26:53 それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今すぐわたしの配下に置いていただくことが、できないと思うのですか。

懇願する

マタ 8:5 イエスがカペナウムに入られると、一人の百人隊長がみもとに来て懇願し、  
マタ 8:31 悪霊どもはイエスに懇願して、「私たちを追い出そうとされるのでしたら、豚の群れの中に送ってください」と言った。

優しい言葉をかける

第1コリ 4:13 中傷されては、優しいことばをかけています。私たちはこの世の屑、あらゆるものの、かすになりました。今もそうです。

勧める

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生き



たささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ロマ 12:8 勧めをする人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は喜んでそれを行いなさい。

ユダ 1:3 愛する者たち。私たちがともにあずかっている救いについて、私はあなたがたに手紙を書こうと心から願っていましたが、聖徒たちにひとたび伝えられた信仰のために戦うよう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました。

聖い = ◀ 40. hagios (ハゲアス) 235 回 ▶ 聖い、分けられた

@聖い = 傷が無い = 聖別された

@聖別 = 1) 物 (ルカ 18:22) あなたの持ち物を全部売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。

2) 人間関係 (マタイ 8:22) 「わたしについて来なさい。死人たちに彼らの中の死人たちを葬らせなさい。」

3) 自分自身 (マタイ 10:38) 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、

12:2 この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。

心 = ◀ 3563. nous (ヌース) 24 回 ▶ 思い、理解、知性

新改訳では何度も「心」と訳されるが正しくは「思い」

第1コリント 2:16 「だれが主の心を知り、主に助言するのでしょうか。」しかし、私たちはキリストの心を持っています。

自分を変えていただきなさい ○ =(改2) 自分を変えなさい ×

@ 4つの思い=

- 1) 肉からの
- 2) 新しくされていない思い
- 3) 消極的な思い

12:3 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人ひとりに言います。思うべき限度を超えて思い上がってはいけません。むしろ、神が各自に分け与えてくださった信仰の[量り]に応じて、慎み深く考えなさい。

量り=◀ 3358. metron (メト<sup>ラ</sup>ン) 14回▶目盛り、はかり竿、

12:4 一つのからだには多くの器官があり、しかも、すべての器官が同じ働きをしてはいないように、

12:5 大勢いる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、一人ひとりは互いに[器官]なのです。

@第1コリ 12:27 あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

器官=◀ 3196. melos (メ<sup>ラ</sup>ス) 34回▶体の部分、臓器、器官、四肢

12:6 私たちは、与えられた恵みにしたがって、異なる賜物を持っているので、それが預言であれば、その信仰に応じて預言し、

12:7 奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教え、

12:6 私たちは、与えられた恵みにしたがって、異なる賜物を持っているので、

それが預言であれば、その信仰に応じて預言し、

12:7 奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教え、

12:8 勧め(N)をする人であれば勧め(V)、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は喜んでそれを行いなさい。

勧め= ◀ 3874. paraklḗsis (パラクレシス) 29 回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、慰め、勧め  
(N A S)(ESV)(K J V) exhort · ·

@KJV の間違い。勧め(パラクレシス、パラカレオ)を exhortation、exhort と翻訳している。

ローマ 12:8 勧め(N)をする人であれば勧め(V)、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は喜んでそれを行いなさい。  
勧め= ◀ 3874. paraklḗsis (パラクレシス) 29 回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、慰め、勧め

(N A S)(K J V) exhort · ·

英語だと exhort · · の中に「勧める」と「励ます」の両方の意味があるので誤訳とは言い切れないが「熱心に説く」時には「訓戒する」という意味までカバーしているので、と勘違いすることが起こるかもしれない。

(ただ、exhort · · と英訳されているのはこの個所だけのようだ。)

この聖書個所が「慰め」と訳されていたのなら御言葉への新しい理解が広がる事と思う。

というのも「傍らに呼ばれた者」という意味で(改4)で「助け主」と訳される  
◀ 3875. Paraklḗtos(パラークレトス) 5 回 ▶ の語源がパラカレオだからです。

@NKJ もまた「exhort・・」と翻訳されています。

ヨハネ 14:26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

ここはひとつ、慰めるという訳を勧めます。

慰め

ルカ 2:25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた。また、聖霊が彼の上におられた。

Ⅱコリ 1:3 私たちの主イエス・キリストの父である神、あわれみ深い父、あらゆる慰めに満ちた神がほめたたえられますように。

励まし

使 9:31 こうして、教会はユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全地にわたり築き上げられて平安を得た。主を恐れ、聖霊に励まされて前進し続け、信者の数が増えていった。

奨励

使 13:15 律法と預言者たちの書の朗読があった後、会堂司たちは彼らのところに人を行かせて、こう言った。「兄弟たち。あなたがたに、この人たちのために何か奨励のことばがあれば、お話しください。」

勧める = ◀(V) 3870. Parakaleó (パラカレオ) 109回▶ 励ます、慰める、お願ひする、懇願する、勧める

## パラカレオの用法

励ます、

I コリ 14:31 だれでも学び、だれでも励ましが受けられるように、だれでも一人ずつ預言することができるのです。

慰める、

マタイ 5:4 悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるからです。  
第2コリ 1:4 神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。

お願いする、

マタ 26:53 それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今すぐわたしの配下に置いていただくことが、できないと思うのですか。

懇願する

マタ 8:5 イエスがカペナウムに入られると、一人の百人隊長がみもとに来て懇願し、  
マタ 8:31 悪霊どもはイエスに懇願して、「私たちに追いつきそうとされるのでしたら、豚の群れの中に送ってください」と言った。

優しい言葉をかける

第1コリ 4:13 中傷されては、優しいことばをかけています。私たちはこの世の屑、あらゆるものの、かすになりました。今もそうです。

勧める・(こう訳される個所は割合的には少数派)

使徒 14:22 弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければ

ならない」と語った。

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ロマ 12:8 勧めをする人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は喜んでそれを行いなさい。

ユダ 1:3 愛する者たち。私たちがともにあずかっている救いについて、私はあなたがたに手紙を書こうと心から願っていましたが、聖徒たちにひとたび伝えられた信仰のために戦うよう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました。

@ 「勧め・・・」と訳された事がある他の言葉1 (使徒 27:22) にて

◀ 3867. paraineó (パライネオ) 2回▶(v) 訓戒する、警告する、忠告する、アドバイスする

使徒 27:22 しかし今、あなたがたに勧めます。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う人は一人もありません。失われるのは船だけです。

使徒 27:9 かなりの時が経過し、断食の日もすでに過ぎていたため、もはや航海は危険であった。そこでパウロは人々に警告して、

@ 「勧め・・・」と訳された事がある他の言葉2 (エペ 4:17) ただし「厳かに」が付く

◀ 3143. marturomai (マルトウロマイ) 5回▶宣言する(使徒 20:26)、はつき

## り言う(ガラ 5:3)

使 20:26 ですから、今日この日、あなたがたに宣言します。私は、だれの血に対しても責任がありません。

使 26:22 このようにして、私は今日に至るまで神の助けを受けながら、堅く立って、小さい者にも大きい者にも証しをしています。そして、話してきたことは、預言者たちやモーセが後に起こるはずだと語ったことにほかなりません。

ガラ 5:3 割礼を受けるすべての人に、もう一度ははっきり言っておきます。そういう人には律法全体を行う義務があります。

エペ 4:17 ですから私は言います。主にあつて厳かに勧めます。あなたがたはもはや、異邦人がむなしい心で歩んでいるように歩んではなりません。(KJV) testify、(NAS) affirm

I テサ 2:12 ご自分の御国と栄光にあずかるようにと召してくださる神にふさわしく歩むよう、勧め、励まし、厳かに命じました。

@勧めをする人=exhortar

@熱心に=solicitud=心を配って

@賜物の発見の為に= 1) 聖書を知る 2) いろいろやってみる 3) 仕える  
4) 他の人の言葉 5) 自分で感じる

@御霊の賜物(1 コリ 12:8-11)

@御子の賜物(エペソ 4:11) ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、

エペソ 4:11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。

1 ペテ 4:10 それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。  
4:11 語るのであれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい。すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

I 歴代 22:15 あなたのもとには、石を切り出す者、石や木に細工する者、各種の仕事に熟練した者など、多くの仕事をする者がいて、

12 : 9

愛 = ◀ 26. agapé (アガペ) 116回 ▶ (N) 愛、真の愛

12:10 兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。

兄弟愛 = ◀ 5360. philadelphia (フィラデルフィア) 6回 ▶ 兄弟愛

12:11 勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさい。

12:12 望みを抱いて喜び、苦難に耐え、ひたすら祈りなさい。

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ) 37回 ▶ (N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))



ひたすら=◀ 4342. proskartereó (プラスカルテレオ) 10回▶(V)常に務めている、

(ギ) 常に努めなさい、祈りにおいて

12:13 聖徒たちの必要をともに満たし、努めて人をもてなしなさい。

人をもてなしなさい = (改2) 旅人をもてなしなさい  
= ◀ 5381. philoxenia (フィラクセニア) 2回▶  
もてなし、見知らぬ人への愛

12:14 あなたがたを迫害する者たちを祝福しなさい。祝福すべきであって、呪ってははいけません。

12:16 互いに一つ心になり、思い上がることなく、むしろ身分の低い人たちと交わりなさい。自分を知恵のある者と考えるてはいけません。

身分の低い人=◀ 5011. tapeinos(タパイナス) 8回▶(A) へりくだった、身分の低い、おとなしい(2コリ 10:1)

12:18 自分に関することについては、できる限り、すべての人と平和を保ちなさい。

自分に関することについては=つまり国家間の戦争についてはこの御言葉は当てはまらない

(参考) 出エジプト

21:24 目には目を、歯には歯を、手には手を、足には足を、

21:25 火傷には火傷を、傷には傷を、打ち傷には打ち傷をもって償わなければ

ならない。

@この御言葉は償いについて書いているのである。

12:19 愛する者たち、自分で復讐してはいけません。神の怒りにゆだねなさい。こう書かれているからです。「復讐はわたしのもの。わたしが報復する。」主はそう言われます。

復讐する＝ ◀ 1556. ekdikeó 6回 ▶ (V)立証する、復讐する。 正義を与える、擁護する、法的保護を与える

(ルカ 18:3) 守る、(ルカ 18:5) 裁判をする、＝「法的保護を与える」という意味。

怒り＝ ◀ 3709. orgé 36回 ▶ (N)

復讐＝ ◀ 1557. ekdikésis 9回 ▶ (N) 立証、復讐。擁護

報復する＝ ◀ 467. antapodidómi 7回 ▶ (V)同等の報酬として還元する。見返りを与える、報酬を与える。

@裁かない (マタイ 7:2) あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、あなたがたが量るとおりに、

12:20 次のようにも書かれています。「もしあなたの敵が飢えているなら食べさせ、渴いているなら飲ませよ。なぜなら、こうしてあなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになるからだ。」

12:21 悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

この御言葉は箴言の言葉の引用です。

箴言 25:21 あなたを憎む者が飢えているなら、パンを食べさせ、渴いているなら、水を飲ませよ。

25:22 なぜなら、あなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになり、【主】があなたに報いてくださるからだ。

13:1 人はみな、上に立つ権威に従うべきです。神によらない権威はなく、存在している権威はすべて、神によって立てられているからです。

@（1ペテ 2:13）人が立てたすべての制度に、主のゆえに従いなさい。それが主権者である王であっても、

@主にあつて、  
エペソ 6:1 子どもたちよ。主にあつて自分の両親に従いなさい。これは正しいことなのです。

@権威

政府

（ローマ 13：1）

1ペテ 2:13 人が立てたすべての制度に、主のゆえに従いなさい。それが主権者である王であっても、

家族

1コリ 11:3 しかし、あなたがたに次のことを知ってほしいのです。  
すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。

教会

ヘブル 13:17 あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人たちは神に申し開きをする者として、あなたがたの

たましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆きながらすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にはならないからです。

## 仕事

エペソ 6:5 奴隷たちよ。キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。

。13:6 同じ理由で、あなたがたは税金も納めるのです。彼らは神の公僕であり、その務めに専念しているのです。

13:7 すべての人に対して義務を果たしなさい。税金を納めるべき人には税金を納め、関税を納めるべき人には関税を納め、恐れるべき人を恐れ、敬うべき人を敬いなさい。

13:8 だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことは別です。他の人を愛する者は、律法の要求を満たしているのです。

愛する (イエス = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、

13:9 「姦淫してはならない。殺してはならない。盗んではならない。隣人のものを欲してはならない」という戒め、またほかのどんな戒めであっても、それらは、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」ということばに要約されるからです。

愛する (イエス = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、

13:10 愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は律法の要求を満たすものです。

愛は律法の要求を満たすものです= (ギ) 愛は律法を満たす。

愛= ◀ 26. agapé (アガペ) 116回 ▶ (N) 愛、真の愛

要求を満たすもの= ◀ 4138. pléróma (プレイロマ) 18回 ▶ (N) 満たし、  
継ぎ切れ(欠けを満たすもの)(マタ 9:16)、いっぱい(マルコ 6:43)  
満ち満ちた豊かさ(ヨハネ 1:16)、要求を満たす(ロマ 13:10)、満ち溢  
れて(ロマ 15:29)

マタ 9:16 だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりは  
しません。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどく  
なるからです。

マル 6:43 そして、パン切れを十二のかごいっばいに集め、魚の  
残りも集めた。

ヨハ 1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、  
恵みの上にさらに恵みを受けた。

ロマ 11:12 彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人  
の富となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばら  
しいものをもたらすことでしょう。

ロマ 13:10 愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は  
律法の要求を満たすものです。

ロマ 15:29 あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福  
に満ちあふれて行くことになると分かっています。

13:11 さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。

眠り = ◀ 5258. hupnos (フプナス) 6回 ▶ 睡眠 (深い眠り)

hupnos (フプナス)が使われている箇所

マタ 1:24 ヨセフは眠りから覚めると主の使いが命じたとおりにし、自分の妻を迎え入れたが、

ルカ 9:32 ペテロと仲間たちは眠くてたまらなかったが、はっきり目が覚めると、イエスの栄光と、イエスと一緒に立っている二人の人が見えた。

ヨハ 11:13 イエスは、ラザロの死のことを言われたのだが、彼らは睡眠の意味での眠りを言われたものと思ったのである。

使 20:9 ユテコという名の一人の青年が、窓のところに腰掛けていたが、パウロの話が長く続くので、ひどく眠気がさし、とうとう眠り込んで三階から下に落ちてしまった。抱き起こしてみると、もう死んでいた。

ロマ 13:11 さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。

13:12 夜は深まり、昼は近づいて来ました。ですから私たちは、闇のわざを脱

ぎ捨て、**光の武具**を身に着けようではありませんか。

13:14 主イエス・キリストを着なさい。欲望を満たそうと、肉に心を用いてはいけません。

14:1 信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません。

14:5 ある日を別の日よりも大事だと考える人もいれば、どの日も大事だと考える人もいます。それぞれ自分の**心**の中で確信を持ちなさい。

心= ◀ 3563. nous (ヌース) 24 回 ▶ 思い、理解、知性

新改訳では何度も「心」と訳されるが正しくは「思い」

第1コリント 2:16 「だれが主の心を知り、主に助言するのでしょうか。」しかし、私たちはキリストの**心**を持っています。

どの日も大事だと考える=(改2) どの日も同じだと考える=(ギ)毎日と判断する

### **食物制限を否定**

@クリスマス

ローマ 14:23 しかし、疑いを抱く人が食べるなら、罪ありとされます。なぜなら、それは信仰から出ていないからです。信仰から出ていないことは、みな罪です。

ヘブル 13:9 様々な異なった教えによって迷わされてはいけません。食物の規定によらず、恵みによって心を強くするのは良いことです。食物の規定にしたがって歩んでいる者たちは、益を得ませんでした。

1コリント 8:8 しかし、私たちが神の御前に立たせるのは食物では

ありません。食べなくても損にならないし、食べても得になりません。

### 食物制限を肯定

1 コリント 8:13 ですから、食物が私の兄弟をつまずかせるのなら、兄弟をつまずかせないために、私は今後、決して肉を食べません。

肉 = ◀ 2907. kreas (クレアス) 2回 ▶ 肉

箴 15:17 野菜を食べて愛し合うのは、肥えた牛を食べて憎み合うのにまさる。

14:6 特定の日を尊ぶ人は、主のために尊んでいます。食べる人は、主のために食べています。神に感謝しているからです。食べない人も主のために食べないのであって、神に感謝しているのです。

第1 コリント 8:8 しかし、私たちを神の御前に立たせるのは食物ではありません。食べなくても損にならないし、食べても得になりません。

@クリスマスを祝うことを妨げてはならない、私たちは積極的に主のため（伝道）に用いるべきです。

14:8 私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。

14:9 キリストが死んでよみがえられたのは、死んだ人にも生きている人にも、主となるためです。



14:10 それなのに、あなたはどのように、自分の兄弟をさばくのですか。どうして、自分の兄弟を見下すのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つことになるのです。

ローマ 14:10 それなのに、あなたはどのように、自分の兄弟をさばくのですか。どうして、自分の兄弟を見下すのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つことになるのです。

Ⅱコリ 5:10 私たちはみな、善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座の前に現れなければならないのです。

マタ 12:36 わたしはあなたがたに言います。人は、口にするあらゆる無益なことばについて、さばきの日に申し開きをしなければなりません。

@神のさばきの座＝（単数）＝キリストの裁きの座

第2コリント 5:10 私たちはみな、善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座の前に現れなければならないのです。

肉体＝◀ 4983. Sōma(ソマ) 142回▶身体、肉体、(キリストの)身体  
(改4)では「からだ」

@白い御座ではない＝地獄への裁き

黙 20:11 また私は、大きな白い御座と、そこに着いておられる方を見た。地と天はその御前から逃げ去り、跡形もなくなった。

@行いの裁きの座

黙示録 20:4 また私は多くの座を見た。それらの上に座っている者たちがいて、彼らにはさばきを行う権威が与えられた。また私は、イエスの証しと神のことばのゆえに首をはねられた人々のたましいを見た。彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。彼らは生き返って、キリストとともに千年の間、王として治めた。

マタイ 19:28 そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。

マタ 12:41 ニネベの人々が、さばきのときにこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし見なさい。ここにヨナにまさるものがあります。

ヨハネ 5:22 また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子に委ねられました。

14:11 次のように書かれています。「わたしは生きている——主のことば——。すべての膝は、わたしに向かってかがめられ、すべての舌は、神に告白する。」  
(告白= (NAS)praise)

告白する = ◀ 1843. exomologeó (エクサモログオ) 10回 ▶ 同意する、告白する、ほめたたえる

(改 2)14:11 次のように書かれているからです。「主は言われる。わたしは生きている。すべてのひざは、わたしの前にひざまずき、すべての舌は、神をほめたたえる。」(改 3)

14:15 もし、食べ物の中で、あなたの兄弟が心を痛めているなら、あなたはもはや愛によって歩んではいません。キリストが代わりに死んでくださった、そのような人を、あなたの食べ物の中で滅ぼさないでください。

愛 = ◀ 26. agapé (アガペ) 116回 ▶ (N) 愛、真の愛

@キリストが代わりに死んでくださった、そのような人を=(改2) キリストが代わりに死んでくださったほどの人を

第1コリント 8:11 つまり、その弱い人は、あなたの知識によって滅びることになります。この兄弟のためにも、キリストは死んでくださったのです。

8:12 あなたがたはこのように兄弟たちに対して罪を犯し、彼らの弱い良心を傷つけるとき、キリストに対して罪を犯しているのです。

14:17 なぜなら、神の国は食べたり飲んだりすることではなく、聖霊による義と平和と喜びだからです。

第1テサロニケ 1:6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

詩 16:11 あなたは私にいのちの道を知らせてくださいます。満ち足りた喜びがあなたの御前にあり楽しみがあなたの右にとこしえにあります。

14:19 ですから、私たちは、平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つことを追い求めましょう。

霊的成長=(N)=◀ 3619. oikodomé (オイカダメ) 18回▶(N) 建築、人の建て上げ

動詞形

人を育てる=◀ 3618. oikodomeó (オイカダメオ) 41回▶家を建てる、作り上げる、立てる、人格を作り上げる

I コリ 10:23 「すべてのことが許されている」と言いますが、すべてのことが益になるわけではありません。「すべてのことが許されている」と言いますが、すべてのことが人を育てるとはかぎりません。

人を育てるとはかぎりません=(改 2) 徳を高めるとはかぎりません

14:20 食べ物のために神のみわざを台無しにははいけません。すべての食べ物はきよいのです。しかし、それを食べて人につまずきを与えるような者にとっては、悪いものなのです。

14:21 肉を食べず、ぶどう酒を飲まず、あなたの兄弟がつまずくようなことをしないのは良いことです。

14:22 あなたが持っている信仰は、神の御前で自分の信仰として持っていないさい。自分が良いと認めていることで自分自身をさばかない人は幸いです。

14:23 しかし、疑いを抱く人が食べるなら、罪ありとされます。なぜなら、それは信仰から出ていないからです。信仰から出ていないことは、みな罪です。

罪 = ◀ 266. hamartia 173 回 ▶ 的を外す。罪

第1コリント 8:8 しかし、私たちが神の御前に立たせるのは食物ではありません。食べなくても損にならないし、食べても得になりません。

第1コリント 8:13 ですから、食物が私の兄弟をつまずかせるのなら、兄弟をつまずかせないために、私は今後、決して肉を食べません。

箴言 15:17 そして、もしキリストがよみがえらなかつたら、あなたがたの信仰は空しく、あなたがたは今もなお自分の罪の中にいます。

15:1 私たち力のある者たちは、力のない人たちの弱さを担うべきであり、自分を喜ばせるべきではありません。

15:2 私たちは一人ひとり、霊的な成長のため、益となることを図って隣人を喜ばせるべきです。

(2017 年版初版訂正分) (注釈部分) 霊的 × → 霊的な ○

(ギ) 私たちはそれぞれ、隣人を喜ばせましょう。良いことについて、建て上げのために。

霊的な成長のため = その徳を高め

15:4 かつて書かれたものはすべて、私たちが教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持ち続けるためです。

(かつて) 書かれた = ◀ 4270. prographó (プラグラフォ) 4回 ▶ あらかじめ書く、すでに書く、あらかじめ示す

ローマ 15:4 かつて書かれたものはすべて、私たちを教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持ち続けるためです。

ガラテア 3:1 ああ、愚かなガラテヤ人。十字架につけられたイエス・キリストが、目の前に描き出されたというのに、だれがあなたがたを惑わしたのですか。

エペ 3:3 先に短く書いたとおり、奥義が啓示によって私に知らされました。

ユダ 1:4 それは、ある者たちが忍び込んできたからです。彼らは不敬虔な者たちで、私たちの神の恵みを放縱に変え、唯一の支配者であり私たちの主であるイエス・キリストを否定しているので、以下のようなさばきにあうと昔から記されています。

@教える = ◀ 1319. didaskalia (ディダスカリア) 21回 ▶ (N) 教え、指導

(似た御言葉、ただし「教え」ではなく「戒め」という別の単語)  
第1コリント 10:11 これらのことが彼らに起こったのは、戒めのためであり、それが書かれたのは、世の終わりに臨んでいる私たちへの教訓とするためです。(片方は補足。原語では「教訓」と「戒め」の区別はなく1回しか使われていない)

戒め = ◀ 3559. nouthesia (ヌセシア) 3回 ▶ (N) 訓戒、教

## 訓、戒め、警告、(KJV) admonition

15:5 どうか、忍耐と励ましの神があなたがたに、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを抱かせてくださいますように。

15:6 そうして、あなたがたが心をつにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父である神をほめたたえますように。

ほめたたえますように=◀ 1392. doxazó (ドクサツ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

(2017年版初版訂正分) (注釈部分) 神に栄光を帰す × → 神に栄光を帰します ○

15:7 ですから、神の栄光のために、キリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れ合いなさい。

15:9 また異邦人もあわれみのゆえに、神をあがめるようになるためです。「それゆえ、私は異邦人の間であなたをほめたたえます。あなたの御名をほめ歌います」と書いてあるとおりです。

あがめる=◀ 1392. doxazó (ドクサツ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

ほめたたえます=◀ 1843. exomologeó (エクサモログオ) 10回▶ 同意する、告白する、ほめたたえる

ほめ歌います=◀ 5567. psalló (プサロ) 5回▶ 引く、歌う、詩篇を歌う

15:11 さらに、こうあります。「すべての異邦人よ、主をほめよ。すべての国民が、主をたたえるように。」

ほめよ = ◀ 134. aineó (アイネオ) 8回 ▶ 賛美する

たたえる = ◀ 1867. epaineó (エパイネオ) 6回 ▶ ほめる、(一般的な意味で褒める)、賛美する

15:13 どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安であなたがたを満たし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。

I ペテ 1:3 私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせ、生ける望みを持たせてくださいました。

ロマ 15:14 私の兄弟たちよ。あなたがた自身、善意にあふれ、あらゆる知識に満たされ、互いに訓戒し合うことができると、この私も確信しています。

訓戒する = ◀ 3560. noutheteó (ヌセテオ) 8回 ▶ (V) 訓戒、忠告する。勧める

知識に満たされ = ◀ 1108. gnósis ▶ 知識 (改2)知恵に満たされ ×

15:18 私は、異邦人を従順にするため、キリストが私を用いて成し遂げてくださったこと以外に、何かをあえて話そうとは思いません。キリストは、ことばと行いにより、

15:19 また、しるしと不思議を行う力と、神の御霊の力によって、それらを成し遂げてくださいました。こうして、私はエルサレムから始めて、イルリコ



に至るまでを巡り、キリストの福音をくまなく伝えました。

15:20 このように、ほかの人が据えた土台の上に建てないように、キリストの名がまだ語られていない場所に福音を宣べ伝えることを、私は切に求めているのです。

15:22 そういうわけで、私は、あなたがたのところに行くのを何度も妨げられてきました。

15:23 しかし今は、もうこの地方に私が働くべき場所はありません。また、イスパニアに行く場合は、あなたがたのところ<sup>に</sup>立ち寄ることを長年切望してきたので、

働くべき場所はありません=(改 2)働くべき所がなくなりました

15:27 彼らは喜んでそうすることにしたのですが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。

聖徒たちに対して=◀ 846. autos (アウトース) 5606回 ▶ self he, she, it them, the same,

=素直に翻訳すると、「彼らに対して」

聖徒たちに対して=(改 2) その人々に対して

= (DHH) ユダヤ人の中から信仰に入った人

奉仕する=◀ 3008. leitourgeo (ラトゥールグオ) 3回 ▶ 奉仕する、国家に奉仕する、公共サービスの行動、礼拝の務めをする

使 13:2 彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が「さあ、わたしのため

にバルナバとサウロを聖別して、わたしが召した働きに就かせなさい」と言われた。

ロマ 15:27 彼らは喜んでそうすることにしたのですが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。

(KJV)(NAS) to minister

ヘブル 10:11 さらに、祭司がみな、毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえを繰り返し献げても、それらは決して罪を除き去ることができませんが、

15:28 それで私はこのことを済ませ、彼らにこの実を確かに渡してから、あなたがたのところを通してイスパニアに行くことにします。

◀ 4972. sphragizó (スフラギゾ) 15 回 ▶ 保障する、封印する。 エペソ 1 : 1 3 の聖霊による保障と同じ単語

15:29 あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満ちあふれて行くことになる分かっています。

満ちあふれて = ◀ 4138. pléróma (プレイロマ) 18 回 ▶ (N) 満たし、  
継ぎ切れ(欠けを満たすもの)(マタ 9:16)、いっぱい(マルコ 6:43)  
満ち満ちた豊かさ(ヨハネ 1:16)、要求を満たす(ロマ 13:10)、満ち溢れて(ロマ 15:29)

マタ 9:16 だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどくなるからです。

マル 6:43 そして、パン切れを十二のかごいっぱいに集め、魚の残りも集めた。

ヨハ 1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。

ロマ 11:12 彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばらしいものをもたらすことでしょう。

ロマ 13:10 愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は律法の要求を満たすものです。

ロマ 15:29 あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満ちあふれて行くことになると分かっています。

15:30 兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によってお願いします。私のために、私とともに力を尽くして、神に祈ってください。

力を尽くして=◀ 4865. sunagónizomai (スナゴニザマイ) 1回▶(V) ~と格闘する

祈ってください=◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ)37回▶(N) 祈り

力を尽くして・・祈ってください=(ギ) 格闘してください、祈りの中で

愛=◀ 26. agapé (アガペ) 116回▶ (N) 愛、真の愛

ロマ 15:32 また、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところに行き、あなたがたとともに、憩いを得ることができるように、祈ってください。

祈ってください= (なし)

15:30 Now I beg you, brethren, through the Lord Jesus Christ, and through the love of the Spirit, that you strive together with me in prayers to God for me,

「力を尽くして、神に祈ってください。」

力を尽くしての後ろに点が入っています。なぜ、点が入っているのか。

翻訳者がそのように翻訳したかったといえればそれまでですが、意味があります。英語の翻訳を見ればわかります。

that you strive together with me in prayers to God for me

語順でいうなら

力を尽くしてください。祈りの中で。です。

力を尽くして= ◀ 4865. sunagónizomai (スナゴニザマイ) 1回 ▶ (V) ~と格闘する

祈ってください= ◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ) 37回 ▶ (N) 祈り

力を尽くして・・祈ってください= (ギ) 格闘してください、祈りの中で

大した違いではありませんが、私にとっては大きな啓示でした。

私のために祈るといって、神様に

32 節にも祈ってくださいとありますが、原文ではない (30 節の言葉が全体にかかっている)

15:31 私がユダヤにいる不信仰な人々から救い出され、エルサレムに対する私

の奉仕が聖徒たちに受け入れられるように、

不信仰な人々＝◀ 544. apeitheó (アパイセオス) 14 回▶ 不従順な人、不信仰な人

15:32 また、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところに行き、あなたがたとともに、憩いを得ることができるように、祈ってください。

15:33 どうか、平和の神が、あなたがたすべてとともにいてくださいますように。アーメン。

使 8:24 シモンは答えた。「あなたがたが言ったことが何一つ私の身に起こらないように、私のために主に**祈ってください**。」

ロマ 15:32 また、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところに行き、あなたがたとともに、憩いを得ることができるように、**祈ってください**。

エペ 6:19 また、私のためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるように、**祈ってください**。

エペ 6:20 私はこの福音のために、鎖につながれながらも使節の務めを果たしています。宣べ伝える際、語るべきことを大胆に語れるように、**祈ってください**。

コロ 4:3 同時に、私たちのためにも**祈ってください**。神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように**祈ってください**。この奥義のために、私は牢につながれています。

コロ 4:4 また、私がこの奥義を、語るべき語り方で明らかに示すことができるように、**祈ってください**。

1 テサ 5:25 兄弟たち、私たちのためにも**祈ってください**。

Ⅱテサ 3:1 最後に兄弟たち、私たちのために祈ってください。主のことばが、あなたがたのところと同じように速やかに広まり、尊ばれるように。

Ⅱテサ 3:2 また、私たちが、ひねくれた悪人どもから救い出されるように祈ってください。すべての人に信仰があるわけではないからです。

ヘブル 13:18 私たちのために祈ってください。私たちは正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動したいと思っていますからです。

ちなみに「~のために」は使徒 8:24 以外はフペルではなく ◀ 4012. peri 333 回▶

16:1 私たちの姉妹で、ケンクレアにある教会の奉仕者であるフィベを、あなたがたに推薦します。

@フィベ=もてなす

16:2 どうか、聖徒にふさわしく、主にあって彼女を歓迎し、あなたがたの助けが必要であれば、どんなことでも助けてあげてください。彼女は、多くの人々の支援者で、私自身の支援者でもあるのです。

@助ける

16:3 キリスト・イエスにある私の同労者、プリスカとアキラによろしく伝えてください。

@プリスカとアクラ

16:4 二人は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれま

した。彼らには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。

@与える

16:5 また彼らの家の教会によろしく伝えてください。キリストに献げられたアジアの初穂である、私の愛するエパイネトによろしく。

@もてなす

家の教会＝もてなす

16:6 あなたがたのために非常に労苦したマリアによろしく。

@働く

16:7 私の同胞で私とともに投獄されたアンドロニコとユニアによろしく。二人は使徒たちの間でよく知られており、また私より先にキリストにある者となりました。

16:10 キリストにあって認められているアペレによろしく。アリストブロの家の人々によろしく。

認められている＝◀ 1384. dokimos (ダキマス) 7回▶(A) テストされた、認められた、受け入れれる、

(改2)練達した

16:13 主にあつて選ばれた人ルフォスによろしく。また彼と私の母によろしく。

@彼と私との母に＝実の母のようにパウロを助けた

16:17 兄弟たち、私はあなたがたに勧めます。あなたがたの学んだ教えに背いて、分裂とつまずきをもたらす者たちを警戒しなさい。彼らから遠ざかりなさい。

16:18 そのような者たちは、私たちの主キリストにではなく、自分の欲望に仕えているのです。彼らは、滑らかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましています。

16:19 あなたがたの従順は皆の耳に届いています。ですから、私はあなたがたのことを喜んでいますが、なお私が願うのは、あなたがたが善にはさとく、悪にはうとくあることです。

16:20 平和の神は、速やかに、あなたがたの足の下でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。

詩篇 108:13 神にあつて私たちは力ある働きをします。神こそが私たちの敵を踏みつけてくださいます。

ヨシュア 10:24 彼らとその王たちをヨシュアのもとに引き出したとき、ヨシュアはイスラエルのすべての人を呼び寄せ、自分と一緒にいった戦士の指揮官たちに言った。「近寄つて、この王たちの首を踏みつけなさい。」彼らは近寄り、王たちの首を踏みつけた。

10:25 ヨシュアは彼らに言った。「恐れてはならない。おののいてはならない。強くあれ。雄々しくあれ。あなたがたの戦うすべての敵に【主】がこのようにされる。」

エペソ 1:22 また、神はすべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしらとして教会に与えられました。